

編集者の方に「山下さん、その88ヶ所への意気込み、是非書いてみませんか？」などと熱く言われた訳でもなく「山下さん書いてみませんか？」（まあ、嫌ならええけど）的な感じで勧められ「うん、書かしてくるんやったら書きたい」という、ダラーンとした感じで今回紙面を汚させてもらいます。

小山田住職との出会い

さて題材は「私の88ヶ所」ですが、今タイムリーに88ヶ所が盛り上がりつつあります。実は私自身もタイムリーでびつくりしております。私が88ヶ所に対して興味を持ったのもそんなに前ではないからです。だから、他のメンバー「四国へんろ道文化」世界遺産化の会「みたい」にすばらしいことや協力もまだできていません。88ヶ所も廻りたいのですが、まだ1廻りもしておりません。人にはそれぞれ思いがあり、それぞれの事情がある。そんな中で無理せず協力していきたいというワガママなスタイルを先にお詫び申し上げます。

そんな中途半端に思われるかもしれない私ですが「88ヶ所のDVDを製作させてほしい」とお願いにあがったのがきっかけで、仙遊寺の小山田住職さんとお会いしました。（※余談ですが、DVDの走り出しのコンセプトは88人のお坊さん《合

私の88ヶ所

株式会社 ゆうゆう
専務取締役
山下 大介



計88枚、1人1時間」でしたが、何件か断られていくうちに正直嫌になりました。その時、初めて世界遺産登録を目指しているという事を知り、小山田住職さんとお話すうちに「私に出来る事は協力しよう」と思うようになりました。私も微力ながら別の形で88ヶ所に関わっていて、微妙な温度差がありながらも「ええ事なんやけん、協力せないかんやろ」と感じたのは小山田住職さんが目指している世界遺産

が「お接待」の風習だったからです。話を聞けば聞くほど、「なんて自分に正直な人なのだろう。」と感じ、その気持ちを行動にうつせる実行力に頭が下がったからです。（下がってもDVDは続行しませんが…）

私の88ヶ所

さて、問題の「じゃー山下さんの88ヶ所って何？」に行き着く訳ですが、私の88ヶ所はズバリ「若い世代への伝言板（駅の）」です。（照）今はタイムリーな話題です。これから結構な人が知っておりますが、本当に若い子達が興味を持っているのでしょうか？四国近県ならまだしも全国区ではまだまだだと私は考えました。



地域を結ぶ へんろ文化

一例を挙げれば、最近、子供の自殺が増えましたが、遍路への興味がただの1回でも持ったことがあれば、1人でも救えたのではないかと？自殺する前にフラッと遍路に出かけたなら、死ぬ気もおさまったんじゃないかと。言いにくい事ではあります。私の考えは、お寺で判子を押して貰わないとダメ！とか、自装束で！とか、金剛杖が！とか、そんな事は問題にしておりません。廻りたい格好で廻ればいいし、判子もつきたきやつければいいと思っています。バイクも車も歩きも何だっていいんじゃないですかねー？葬



式、墓参り以外の理由でお寺に出かけるなんて、僕はちよつと洒落てると思うし、数少ない癒しのスペースだと思います。皆を救おうなんてそんな大それたことは私には出来ませんし、考えてもいません。だから駅の伝言板です。興味がある人が見る。用がある人が見る。ただそこに文字があるのと無いのでは違うかな？と考えただけです。「今書いてある漢字は難しいから振り仮名つけておこう。挿絵も入れておこう」とこんな気持で協力させていただいています。

私の事を不真面目だ、とか伝統がとか、一言申したい人も多いとは思いますが、不器用な人間も多いという事は分かって頂きたいし、私は私の様な人間にも88ヶ所が「へえー廻ってみたいな」と、いつまでも愛される空間であってほしいだけです。そんなきつかけで、なかなか四国まで来れない人が「今日は暇だから寺でも行ってみるか！」と近所のお寺に向く事があればそれも「私の88ヶ所」だと思いますし、弘法大師

様も、「多分許してくれるやろー」と考えております。そんな「やわらかいのにコシがある松山のうどん」の様に「ながーくもつちり」と運動を続けていこうと考えております。世の中の事も判っていない若僧の話を最後まで読んで頂いた方に感謝いたします。

